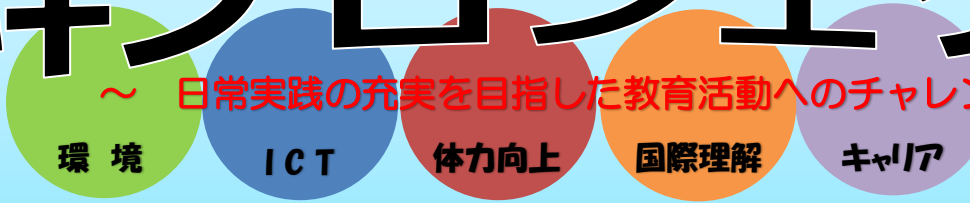




絆プロジェクト

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～



平成28年7月6日発行
No 3 文責 小林

環境

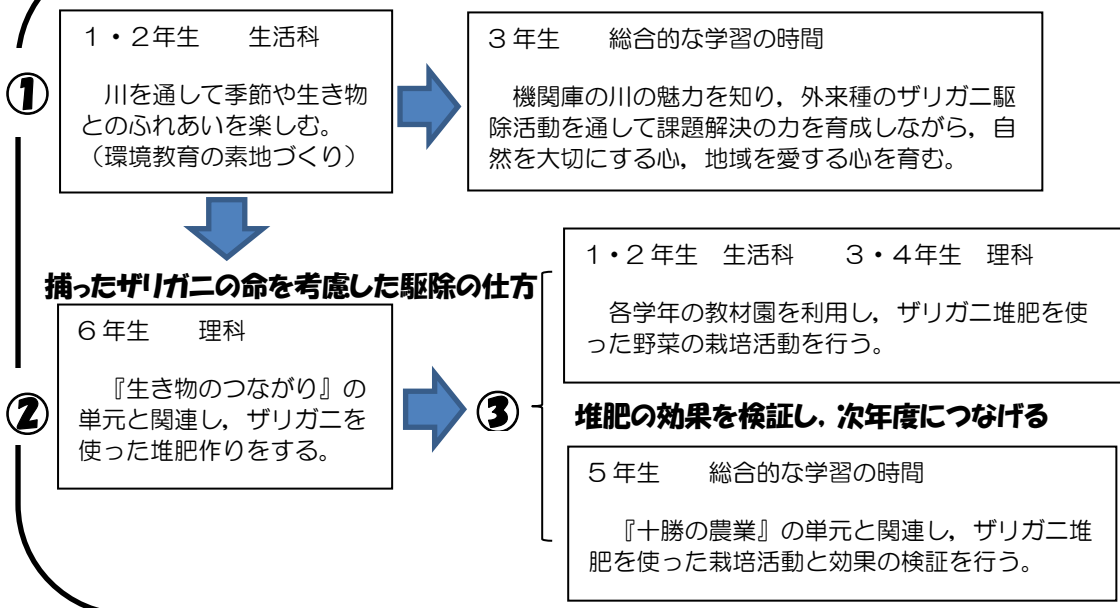
機関庫の川調査隊



豊成小学校の素晴らしいところの1つに「学習環境に恵まれている」ことがあげられます。校地内には、小川が流れ、季節に合わせてたくさんの草花が咲き、そこに集まる昆虫やそれを捕食するたくさんの生き物を観察することができます。また、近隣には十勝の基幹産業である農業に従事する方々、そして、それを加工し販売する方々がたくさんいらっしゃり、多くのことを学ぶ機会を与えて頂いています。

そんな恵まれた環境の1つである「機関庫の川」を活用しての「環境教育」の授業がいよいよスタートしました！！

豊成の環境教育



まずは、3年生が先陣をきって川の中へ……。3年生は、学校の住所にある「清流」という言葉の意味や機関庫の川がきれいな川であり、昔はホタルも自生していた可能性があるという話から、自分達で機関庫の川の水质を調べ、川をきれいにするためには何が出来るか？どうしていかなければならないか？を考えていきます。また、ホタルが棲めるようにするためにホタルの生態を調べたり、外来種の駆除を行ったりしながら課題解決能力の育成を図っていきます。

今後も各学年が発達段階に合わせた環境教育に取り組んでいきます。低学年は、自然と親しみ、中学年は、自然に親しみながら課題を見付け、その解決に向け考えていく。高学年は、堆肥作りを通して命のつながりや地元の産業を学ぶとともに、それに従事する方々から生き方を学んでいきます。

豊成小学校の環境教育は、恵まれた環境はもちろん、その環境を維持して下さっている杉本さん、活動の趣旨を理解して頂き、快く協力して下さっている地域の皆さんに支えられて成り立っています。そのことを忘れず、子どもたちにもしっかりと伝えながら感謝の気持ちをもって取り組んでいきたいと思ひます。

子どもたちの声



今日の学習で、たくさんの小さい昆虫が、川の中にある石のうらについていることがよくわかりました。次に行く時は、機関庫の川と比べてどちらがきれいなのかたしかめたいです。

私は、石のうらに虫がいるのをいっしょうけんめいさがしたけど、そんなに見つかりませんでした。でも、どこにいるかは、わかりました。私は、調べたいものがいっぱい見つけれられたので、とってもうれしかったです。 (1組 一部抜粋)

学んだことのみでなく、次への課題を見付けることができます。(課題解決能力の育成へとつながります)

機関庫の川では、魚やザリガニはいるけど、他の生き物がいるとは思っていませんでした。ぼくは魚が好きで、魚釣りや魚をとるのが好きです。今度の札内川も楽しみです。

私は、石のうらに虫がたくさんいるとは思ってなくて、石のうらに虫がいてびっくりしました。前までは、虫がきれいだったけど、少しだけ好きになりました。 (2組 一部抜粋)



自分のよいところを再確認したり、自分の変化に気付いたりすることができています。(自己理解・自己管理の能力の育成につながります)



今日の学習で、川とのきずなが深まりました。川の石のうらには、生き物がいることがわかりました。そういう虫は、きれいな川にいるようです。これからは、川を大切にし、生き物と仲よくなれるようにします。

今回の学習で、私は石のうらにたくさんの生き物がついていることがわかりました。これからの川の学習では、川の生き物を見つけたら、「あっ、これ〇〇だね。」と言える生き物博士になりたいです。(3組 一部抜粋)

近い未来の目標や自分の姿を想像し、「なりたい自分」を見付けることができます。(キャリアプランニング能力の育成につながります)